

公共建築賞
特別賞

生活施設
(四国地区)

やわたはま ひづち
八幡浜市立日土小学校



喜木川に面する東校舎



東校舎の昇降口

所在地	愛媛県八幡浜市日土町二番耕地 851
敷地面積 (m ²)	7,675.18
建築面積 (m ²)	1,231.95
延床面積 (m ²)	2,019.66
構造／階数	W 造／地上 2 階
事業者	八幡浜市
設計者	八幡浜市役所土木課建設係 (松村正恒)、和田建築設計工房、 (有)アトリエ A&A
施工者	(株)一宮工務店、小西建設(株)
竣工年月	2009 (平成 21) 年 6 月
総工事費	446 百万円

八幡浜のみかん畑に囲まれた谷間の奥にこの建物はあります。やはり本当に優れた建物は、現地に行ってみなければ分からないことを再確認しました。この建物の概要は写真で知っていたのですが、やはりその場に身を置いてみなければ分かりにくい建物です。

グラウンドに向けて軒を低く構えた緩勾配の屋根、ファサードを覆う木造建具の繊細さ、谷間の緑とみかん畑に溶け込むような黄緑色の塗装、裏を流れる小川の環境を体感する階段、どれもが子供たちに語りかけています。自由に、伸び伸びと、希望を持って、と。

次の時代を担う子供の教育が、最高の徳目であった時代が確かにあったのだということを、ひしひしと感じました。新しい時代の子供のための学びの空間を創造する。そこに一点の曇りもないことが分かります。設計者である松村正恒の願いが、半世紀を経ても生き生きと建物の中に息づいています。それを受け止め、尊重し、次世代に受け渡そうという保存と修復の活動は貴重なものです。今の時代には失われてしまった公共性と建築表現の融和がここにはあります。

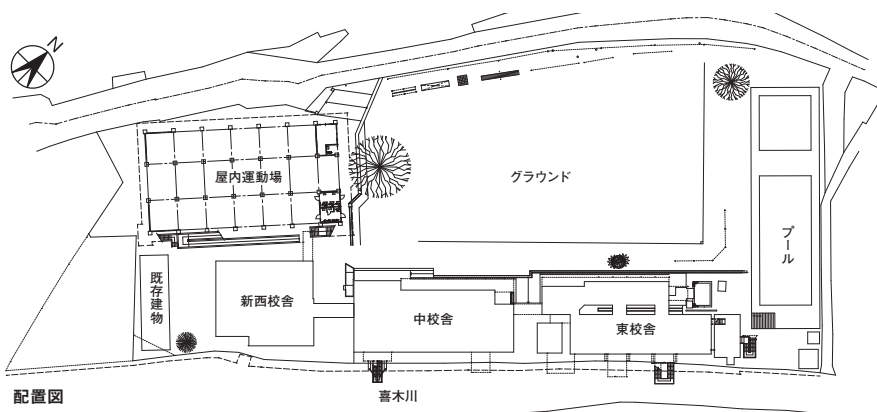
(内藤廣委員)



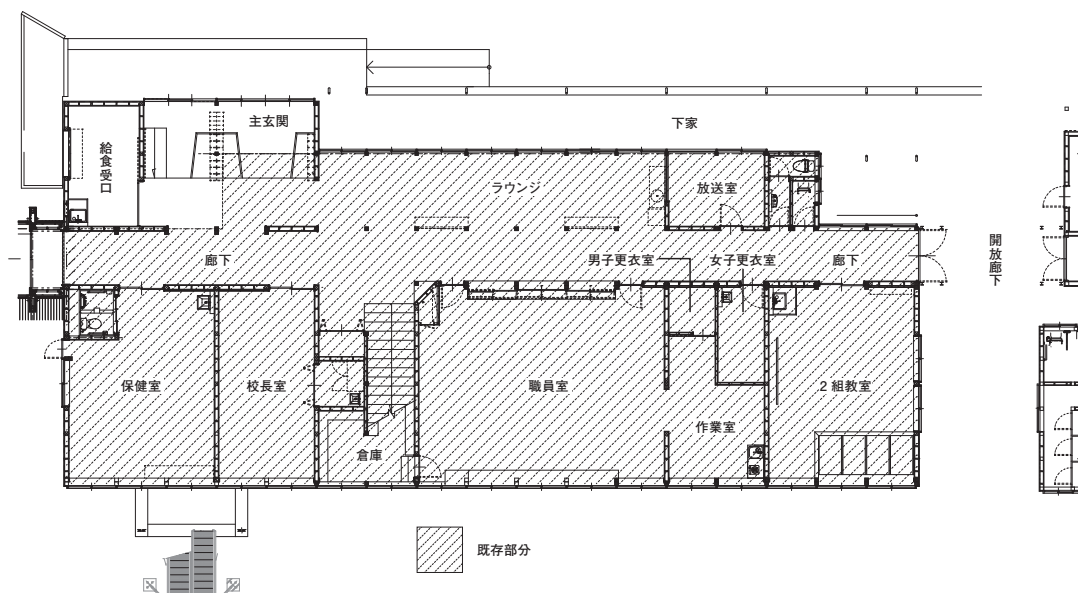
東校舎 2 階。図書室とベランダ



新西校舎 1 階
2 年生普通教室及び多目的コーナー



配置図



中校舎 1 階平面図

光と風の学校で

『自然で、簡素で、静寂である、このことが学校の環境としては一番いいのではないか』という設計者松村正恒氏の思いを繋いだ校舎は、子どもたちの学校生活に溶け込み、今日も学習や活動の場となっています。四季の移ろいを光と風で感じながら、教科書やノートを広げ、友と語り合うことのできる時間は、かけがえのないものです。中でも図書室は、子どもたちの一番のお気に入りの場所。喜木川に張り出したベランダでの読書は、子どもたちの心を豊かに満たします。

明治9年の開校以来、校訓の通り「明るい子・考える子・強い子」を育んできました。歴史と伝統を礎に、地域の教育力、清らかな自然、そして温もりに満ちた校舎に支えられ光と風の学校で、笑顔・努力・感謝の生まれる学校づくりを目指します。

(河野礼子・八幡浜市立日土小学校校長)